せんしょう苑
望洋荘 便り

第９６号
平成２３年
１１月発行

ツワブキ（石蕗）の花

社会福祉法人りんさく福祉会
理事長　須田　滉

東日本大震災の発生から半年が過ぎた。平から久之浜の診療所に向かう道すがらに見られる風景は、地震による津波の来襲で見るも無残な状態である。特に久之浜の市街中心部は津波と火災により壊滅状態と化しており、瓦礫の収拾が追いつかないでいる。そのなかに、ひっそりと立て札が破壊された門のそばの庭に立てられている。「母が作った庭なのでつぶさないで下さい」という文字が添えられて。おそらく全壊に近い家を取り壊すときに、庭に気を使ってください。との願いなのでしょう。多分に、津波でさらわれて亡くなった母への慕情がこめられた遣るせない感情の表出だったのではないだろうか。庭石で囲まれたそこには、葉を若干赤くした松、柘植、ツツジ、さるすべり、南天、蜜柑などの木々や、菊、桔梗等の草花が一部残っている。その中でも海水に浸ったにもかかわらず、石蕗の黄色い花びらが艶のある濃緑色の葉の間からひっそりとではあるが美しく飛び出していた。

石蕗は海岸の岩場や崖などに生育する常緑の多年草である。太平洋岸では、ここ福島県の浜通りいわきを北限とする温暖な地方に生育する植物と言われている。葉には長い柄があり、直径三〇センチほどにもなる艶のある葉を付ける。一〇月から一二月に黄色の見事な花を咲かせ、晩秋から初冬にかけて花の無い季節に海岸に彩りを与えている。波しぶきが掛かるような場所にも生育しており、草本には似合わない丈夫な葉によって塩分の飛沫にも耐えているのであろう。日陰でもよく育ち、園芸植物として、日本庭園の石組みや木の根元などに好まれて植えられている。

斎藤茂吉の短歌に、「いくたびか　時雨のあめの　かかりたる石蕗の花も　つひに終わりぬ」とあるように初冬近くまで花を保ちつつあることが理解できる。東日本大震災による地震と津波にて瓦礫と化したいわきの地でも、健気にも力強く根をはって、明るい黄色の花と艶のある緑色の葉の力強いコントラストを初冬まで見せて欲しいものだ。私たちに更なる復興を促しているシンボルとして。

ちなみに、ツワブキの花言葉は、「困難に負けない」「謙譲」「愛よ蘇れ」とあります。花言葉を調べた私自身がビックリする程適合するものでした。今回の大震災等では、望洋荘の職員、家族、入所者も含め、今回は本当に大変な被害を受けました。石蕗の花言葉のごとく、「困難にも負けない」で一日も早く復興を目指して頑張りましょう。

せんしょう苑落成祝賀会

平成二十三年十月二十八日(金)の十八時から、せんしょう苑内のみまや広場に於いて、多くの御来賓の皆様をお迎えして盛大に会が催されました。

祝賀会式次第

開会の辞　望洋荘　事務長

理事長挨拶　理事長　須田　滉

祝　辞

二本松病院　名誉院長　大森　勝壽　様

三菱東京UFJ銀行　水戸支社支社長　籔　具幸　様

常磐開発KK　代表取締役　佐川　藤介　様

経過報告　せんしょう苑　施設長

感謝状贈呈

常磐開発KK　代表取締役　佐川　藤介　様

KKエーアンドシー　代表取締役　安斎　康秀　様

元武田コンクリートKK　代表取締役　武田　秀雄　様

乾　杯

福島県議会議員　青木　稔　様

祝　宴

閉会の辞　せんしょう苑　施設長

【理事長挨拶】

理事長の須田です。社会法人りんさく会を代表いたしまして一言ご挨拶申し上げます。

本日は、地域密着型介護老人福祉施設せんしょう苑落成祝賀会のパーティーに、月末の多忙な時期にもかかわらずご出席を賜り有難うございます。このたび、福島県並びにいわき市等の行政機関各位のご指導ご支援のもと、いわき市に於いて三番目の地域密着型の福祉施設として完成するに至りました。謹んで御礼申し上げます。

この完成した施設建設地は、本日ご出席の武田様の提供によるものでして、施設計画が持ち上がりながら紆余曲折し約三年以上も私達の為にこの広大な敷地を手放すことなく残してくださいました。このことを考えますと武田様が一番福祉事業の発展にご理解があったのではないかと思うと只々頭の下がるのみであります。

この開設と併せて、自分自身を振り返ってみますと、医学の道を志してから医師として、いつの間にか四十五年余となりました。戦後の長い間食糧難の時期があり数多くの病気がありました。今、考えれば、これらの病気の殆どが、薬を飲めば、注射をすれば、十分な食事を摂ることが出来れば、克服可能な病気であったろうと思います。予防可能な避けることが出来る病気でした。その後、生活が豊かになると、それまでの多くの病気は克服出来るようになりましたが、やがて成人病と闘わなければならない時期が二十年くらいはあったでしょうか。

ふと治療現場を振り返ってみますと、お年寄りを多く見るようになっていました。逃げ場のない「老い」というものを見せつけられました。老衰は医療によって止めることは出来ないし、何ら打つ手がない、防ぎようのないものだと言うことをつくづく感じました。二十一世紀に入り、益々、少子高齢化を迎え老人対策が大きな社会問題となってきました。平成十五年には風光明媚な豊間の東北地方療養所の跡地に、福祉施設望洋荘を。須田医院開設三十三周年の節目に当たる本年に、街中でありながら当地の歴史を語る大舘城跡を背にし、白水阿弥陀堂、そしてその前を流れる新川、すぐそばに由緒ある尼子の橋が佇む内郷御厩の地に本施設を開設する運びとなりました。社会問題となっている地域医療・老人医療に対し、医療人として培ってきたものを地域の皆様に還元すべく、この大きな事業を興す使命を与えられたことに感謝を申し上げたいと思います。

最後になりますが、人の集う場所をギリシャ語でアゴラといいます。アゴラの詩の一説に

「たった一度のきりの　人生だから　思い切りのびやかに　生きよう
これからの人生で　今日が　一番　若い日だから」
「誰もが　誰をも　踏みしだくことなく　胸の底まで
深く息をし
ああ　活きていて　良かったねと　微笑みあえる　アゴラにしよう」

この詩のように「せんしょう苑のみまや広場」が内郷地区の人達にとって素晴らしいアゴラの場所になることを祈念いたします。本日ご参会の皆様の今までのご支援、ご厚情に深謝すると共に、今後とも私どもに更なるご指導ご鞭撻をお願い申し上げ挨拶とさせていただきます。

愛息子・愛娘 大特集

職員の皆様の可愛い子供たちをご紹介します。

長男
♦千尋(ちひろ)くん 1才

９月に那須へ家族旅行に行った時の写真です。今年は震災などいろいろ大変な事が多く心身ともに凹でいましたが、千尋の顔を見ると疲れがとれ！また頑張るぞ～という気持ちになれました。

若松未明さん（介護）

長男
航(わたる)くん 8ヶ月

七海祐太郎さん（介護）

笑顔が何ともいえないぐらい可愛いのよ！毎晩夜泣きもしないで、ぐっすり眠ります。

まだハイハイしてるよ（笑い）琴ちゃんが可愛くて毎日いじっています。たまにパパに叱られます。

長男
桜生(おおせい)くん 5才
長女
琴葉(ことは)ちゃん 1才

門馬和久さん（介護）

伊藤正寿さん（介護）

お食い初めですよ~♥

次女
♥心優(みゆ)ちゃん 3ヶ月

おすまし上手なあいりん！何でも一生懸命なパパが、大好きです。

長女
♥愛莉(あいり)ちゃん 2才

佐藤正臣さん（介護）

いわき方言講座②

方言	意味・標準語
じゃんぽん	お葬式
しょう	背負う
じんぐり	順番に
すっけい	すっぱい
ずっこい	ずるい
すてばってる	生意気でませてる
するびる	引きずる
せでやべ	連れて行って
そじる	ただれる
たんがぐ	荷物をもつ
調子こぐ	調子に乗る
ちょうろぐ	まともに
ちんと	少し
ちんにぎる	つねる
でれすけ	だらしない人
ねんちゅ	いつも
のんのさん	仏様
はえめ・はいみ	蠅
はがいぐ	はかどる・進む
はげたま	はげ頭・はげた人
ばっち	末ッ子

はっぱがす	剥がす
はなめど	鼻の穴
はねくら	かけっこ
ひじゃっかぶ	膝
びっこ	足が悪い（差別用語）
びっちぐ	背の低い人
ふかぐつ	長靴
ぶんず色	紫色
ぺった	めんこ・花札
へでなし	愚にもつかぬ話
ほっちゃぐる	掘る
ほっぽ	喋れない人（差別用語）
ほろう	落とす
ほろすけ	愚か者
ぼんぼすっこ	サクランボのような髪飾り
まき・まけ・まげ	親戚・血縁・血筋

十二月の行事予定

二階塩屋岬広場

望　洋　荘

十二月二十三日（金）

クリスマス会　塩屋崎広場にて

せんしょう苑

十二月二十四日（土）

クリスマス会　みまや広場にて

【十二月のお誕生会予定】

望　洋　荘

十二月二日（金）　四　倉　鈴木甲子松　様（八七歳）誕生会

十二月四日（日）　豊　間　鈴木サダイ　様（九〇歳）誕生会

十二月七日（水）　薄　磯　増田　程枝　様（九五歳）誕生会

十二月三十日（金）　永　崎　大内ミサヲ　様（八八歳）誕生会

せんしょう苑

十二月一日（木）　みまや南　中村　武男　様（八三歳）誕生会

十二月六日（火）　みまや東　網掛　房　様（九〇歳）誕生会

十二月二九日（木）　みまや東　三浦ユキ子　様（八九歳）誕生会

編集後記

『せんしょう苑・望　洋　荘』便り

平成二十三年十一月三十日発行

発行所　いわき市

平豊間字合磯三十九番地

社会福祉法人　りんさく福祉会

地域密着型介護老人福祉施設

せんしょう苑

介護老人福祉施設

望　洋　荘

電　話　（0246）55-7373

FAX　（0246）55-7255